無償資金協力

案件概要書

2014 年 2 月 25 日

国際協力機構アフリカ部アフリカ第一課

１．案件名（国名）

国名：　スーダン共和国

案件名：ハルツーム州郊外医療サービス改善計画（The Project for Improvement of Health Care Service in Suburban Area of Khartoum State）

２．事業の背景と必要性

(1) 当該国における保健セクターの開発実績（現状）と課題

スーダンでは長期の内戦により十分な保健医療サービスが提供されておらず、乳児死亡率 は 57（出生 1,000 対）、5 歳未満児死亡率は 78（出生 1,000 対）、妊産婦死亡率は 216（出生 10 万対）である等、母子保健指標が特に低いため、UNDP が取りまとめている Health Index でも 199 の国・地域の内、159 位に留まっている（2012 年）。この理由として医療施設・人材の不足が挙げられ、連邦保健省の基準 （「スーダン保健セクター戦略計画 2（2012-2016）」（NHSSP2）が定める、1 次～3 次医療施設において各々求められる人材、施設、機材等の基準）を満たす医療施設は 5.7 % （2011 年） に留まっている。また医療従事者は 1.23（人口 1,000 対）（2011 年）と WHO 基準の 2.28 より低く、特に 80%以上が自宅分娩を選択するスーダンにおいて、母子保健指標改善のために重要な助産師の数は著しく不足している。

同国の首都ハルツームを擁するハルツーム州は、ダルフール等の紛争被災地からの人々の流入により、2008 年から 2011 年までの 3 年間で 100 万人もの人口増加が発生し、州郊外を中心に医療サービスのニーズは拡大している。特に二次医療施設の地域間格差が拡大しており、州 7 郡の内、郊外 3 郡に人口の 6 割弱が集中している一方、二次医療施設数は州全体の 2 割以下に留まるため、郊外の病院ベッド数は平均で 3.41（人口 10,000 対）（2011 年）と、州が定める病院建設基準の 12（人口 10,000 対）を大きく下回る等、州郊外の保健サービスは不十分な状況にある。医療人材面でも、母子保健の担い手である村落助産師は 24（人口 100,000 対）に留まり、州の基準 100（人口 100,000 対）（全て 2011 年）に及ばず、新たに 400 名の養成が必要とされている。

(2) 当該国における保健セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

スーダンでは長期的な保健戦略計画として「スーダン 25 カ年保健戦略（2007-2032）」の実現のため、中期保健政策 NHSSP2 が制定されている。この中では①プライマリーヘルスケア（PHC）のカバレッジ拡大と質の向上、②病院のレファラル強化とサービスの改善、及び③健康保険による弱者の社会的救済が柱とされている。本事業の実施は一次医療施設の建設を進めるスーダン政府の取り組みを補完し、NHSSP2 が定める①及び②の実現を後押しするものとなる。

(3) 保健セクターに対する我が国の援助方針

日本は「国際保健外交戦略」の中でユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）の主流化を掲げ、TICADV においても、「保健分野において、５００億円の支援及び１２万人の人材育成」を表明した。更に、対スーダン国別援助方針の重点分野の一つとして「基礎生活分野支援」を置き、保健医療支援プログラムを実施している。

(4) 他の援助機関の対応

保健政策策定に WHO が協力し、人材育成をワクチンと予防接種のための世界同盟（GAVI）や世界基金が支援している。妊産婦・新生児分野では UNFPA、子供の保健では UNICEF、HIV/AIDS では UNAIDS や世界基金、予防接種には GAVI、マラリア・結核等は世界基金が支援している。また、トルコ・中国は病院建設、エジプトは殺虫剤処理済蚊帳製造機供与等を行っている。

３．事業概要

(1) 事業の目的

本事業は、人口拡大の進むハルツーム州の郊外地域において、特に不足している二次医療施設の改修・拡張及び助産師学校の整備を行うことにより、住民への医療サービス供給を拡大し、もって同州の保健サービス改善に寄与することを目的とする。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名：ハルツーム州（人口 632 万人）ジャバル・アウリヤ郡、ウンバッダ郡、シャルガニール郡（3 郡の人口 359 万人）（2012 年）。

(3) 事業概要

1） 土木工事、調達機器等の内容

施設：トレア・アルフィガ保健センター（二次医療施設への格上げ）：一般病棟、外来棟、検査室、手術室、助産師学校分校等。

ウンバッダ地方病院（産科病棟増築）：産科病棟、助産師学校分校等。

アルバンガディード地方病院（産科病棟増築）：産科病棟、助産師学校分校等。

機材：医療機材（手術用機材含む）、検査機材、助産師学校実習室機材。

2） コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

設計・施工監理、機材維持管理に関する能力強化。

(4) 事業実施体制：ハルツーム州保健省基礎保健局。

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類: C

② カテゴリ分類の根拠:本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進等：協力準備調査にて確認。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携：本事業の実施機関をパイロット事業の主たる実施機関として、PHC のカバレッジ拡大と質の向上を支援する新規技術協力プロジェクトを計画しており、本事業と相乗効果が見込まれる。更に連邦保健省にアドバイザーを配置し、ハルツーム州での活動を同省を通じて他州に展開予定。尚、他ドナーも保健セクターへの協力を行っているが、地方州における活

動が中心であるため、本事業対象地のハルツーム州郊外での活動の重複は想定されていない。

(7) その他特記事項：特になし。

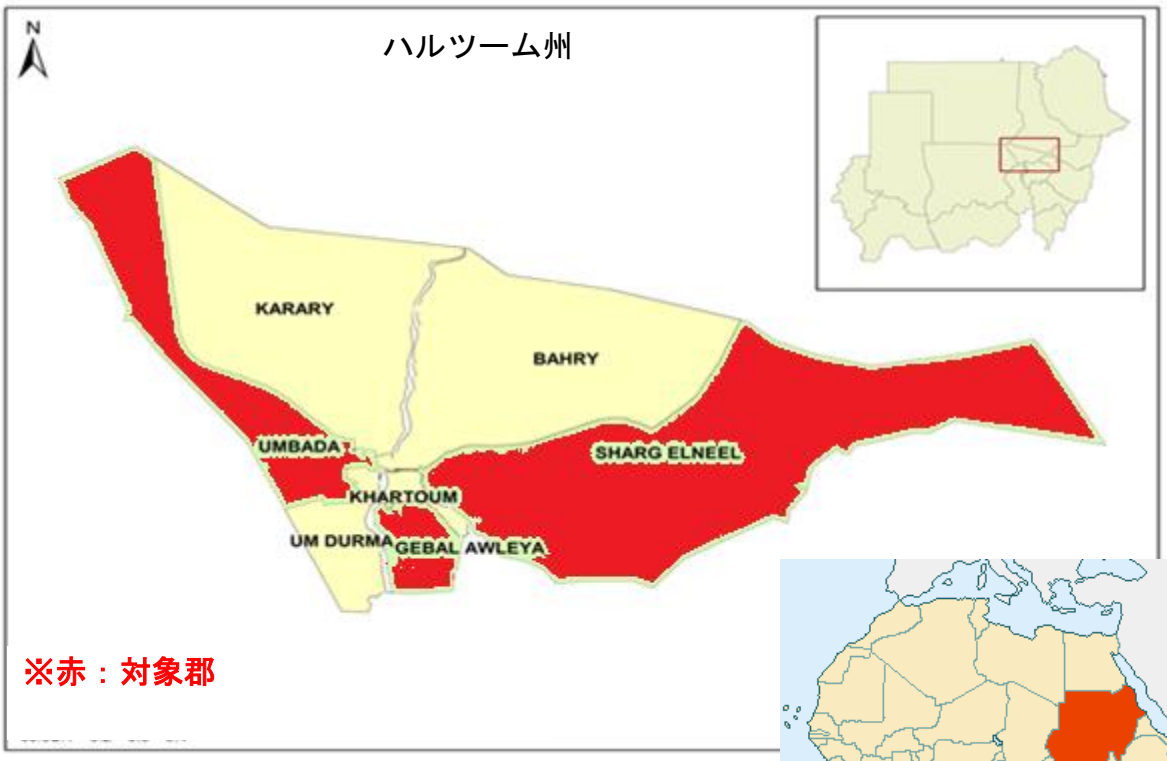
４．過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

ウガンダの無償資金協力「東部ウガンダ医療施設改善計画」の評価等では、スペアパーツの調達ルートを明確化することで、機材を長期活用できるとの教訓が得られている。

(2) 本事業への教訓

過去の教訓を活かし、提供した資材・機材の調達ルートを予め明確化し、実施機関に伝えることで、案件の効果を高めることとする。

以上

別添：
プロジェクト対象地図